

IRR-GE形 誘導形方向地絡継電器

Type IRR-GE Induction Type Directional Overcurrent Ground Relay

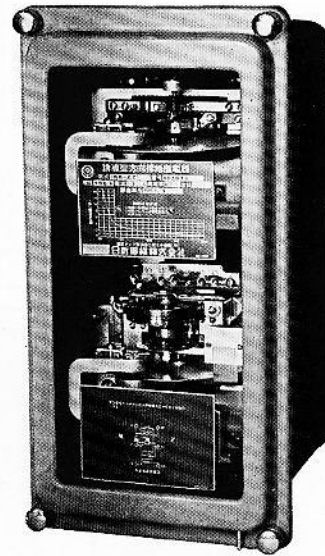
本器は、単一回線送電線における地絡保護を目的とする方向地絡継電器で、接地変圧器による零相電圧と変流器二次残留回路、または三次回路の零相電流によって動作させ、線路に地絡故障が発生すればその電流の値と方向を検出し、故障回線を選択し断するものです。

構造と動作

主要部は方向要素と限時過電流要素の二要素からなっており、いずれも誘導円板形の構造です。上部の方向要素は、電流コイルと電圧コイルとを有する電力方向継電器で、地絡故障時の回路の零相電流と接地変圧器の二次オープンデルタ回路の電圧を入力とし、誘導円板を回転させるものです。本要素はこの電流方向のみを選択すればよいため、感度は非常に鋭敏に調整してあります。

限時過電流要素は、限取コイル式誘導円板形の構造とし、円板と可動接点の間に一段の減速歯車機構を設けた小勢力形の地絡過電流継電器で、安定した反限時性定限時特性を有しています。

接点回路には補助接触子と動作表示器を備えており、直接しゃ断器を引はずす構造としています。



第1図 IRR-GE形 誘導形方向地絡継電器 (埋込形)

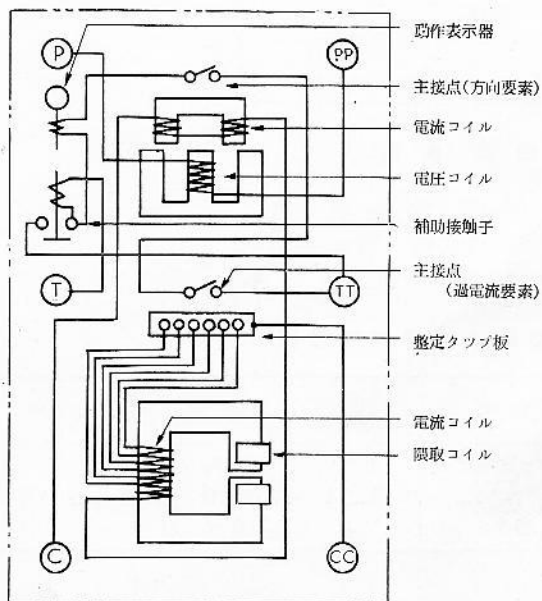
動作電流値の整定

動作電流値の整定はタップ板にて行ないます。広範囲の電流整定ができるよう、0.3—0.6—1.0—1.5—2.0—2.5 A の6タップを設けています。それぞれの系統に合わせて所要のタップ値にプラグをそう入して下さい。

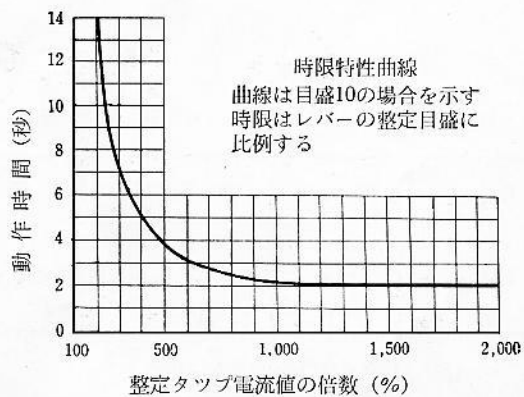
時限の整定

銘板には時限特性曲線が記載してありますが、これは過電流要素における整定電流値のパーセンテージに対する動作時限の変化を表わしています。

反限時性定限時特性を有し、定限時最大2秒を与



第2図 内部接続図 (裏面)



第3図 時限特性

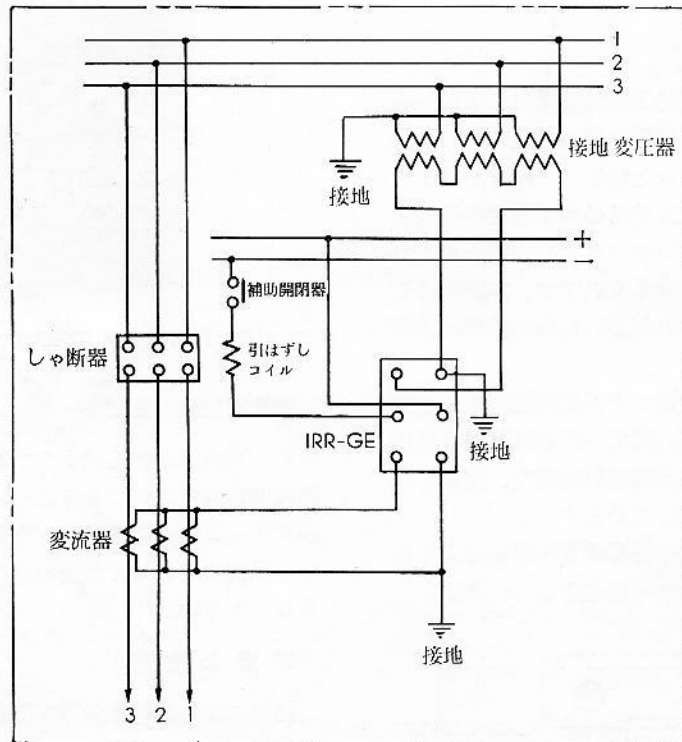
えていますので、機器の選択しゃ断を行なうことができます。

時限レバーと時限目盛板を備えており、目盛板上には 0～10 の時限等分目盛が施してありますから、動作時間はレバーにより任意に整定することができます。

接点と表示器

方向要素と限時過電流要素の両主接点は、いずれも純良な銀で作られています。これらの両主接点は直列に接続されており、補助接触子および動作表示器は、この二要素が共に動作して、引はずし電流が流れたとき確実に動作します。

外部接続



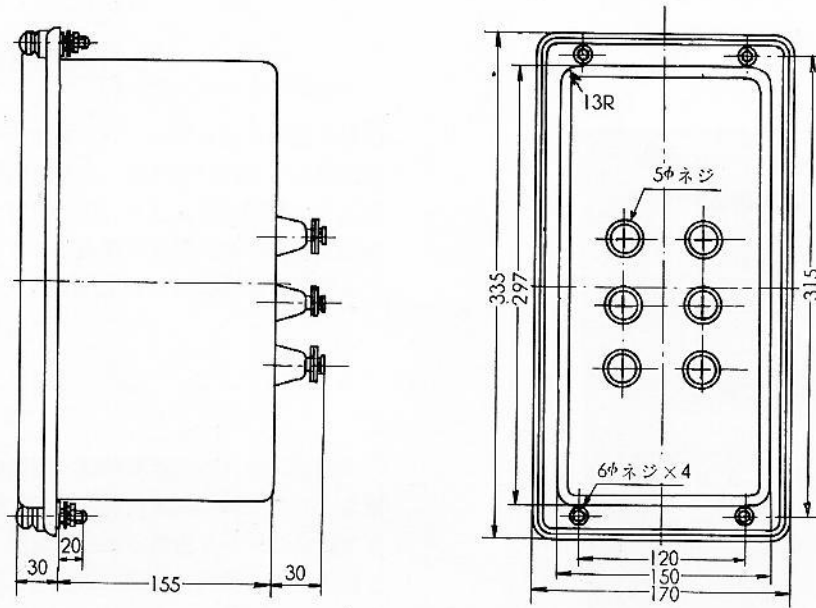
第 4 図 外部接続図 (裏面)

IRR-GE 形 誘導形 方向地絡継電器 標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子 表示器	周波数	備考
IRR-GE	190 V 1 A cont	0.3-0.6-1.0-1.5-2.0-2.5A	タップ電流にて 0.3 VA 190 V にて 30 VA	1 A または 2 A	50 ~ または 60 ~	埋込形

- (注) 1. 重量は約 6.3 kg です。
2. 引出形も標準として製作しています。

外形寸法



第 5 図 IRR-GE 形 継 電 器 外 形 寸 法 図 (埋 込 形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状 : 埋込形、引出形の別
2. 用 途 : 使用回路
3. 周 波 数 : 50、60 への別
4. 制 御 回 路 : シャ断器の定格
補助接触子 1、2 A の別
5. そ の 他 : 標準外の仕様がある場合